

公表

## 事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名	鳥取県立鳥取療育園					公表日	令和8年3月19日
	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	25			・人数に合わせて部屋の設定もしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	25			・今年度は配置が多いくらいである。いろいろな視点で子どもの支援にあたる ・活動参加職員が多くなりすぎないように、参加人数やタイミングの工夫をしている	・活動参加する子どもや保護者にあわせた職員の動きの工夫は引き続き必要 ・利用定員はよいが、実際達していないため利用者が少なく職員が多く感じる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	25				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	25			・使用した机や玩具の消毒をしている ・せいさくや活動に合わせて、組み換えできるスペースや活用できるスペースがある	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	25			・利用児童や活動、クラスによって、個別スペースで活動している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	25			・年度毎に通園活動目標を設定している。職員各自の業務目標もある	・日々の振り返りを密に行う ・改善委員会との連携を行う
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	25				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	25			・係会と日々の振り返り等で検討している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	25				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	25				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	25				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	25			・園内検討会を実施し活用している ・日々、情報共有をしている ・家族の方に「情報共有のためのシート」の記載をお願いし、活用している ・園長が内科検診等を行った際には、情報を活用している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	25			・園内検討会を実施し活用している ・日々、情報共有をしている ・家族の方に「情報共有のためのシート」の記載をお願いし、活用している ・園長が内科検診等を行った際には、情報を活用している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	25			・各児童、園内職員が参加する個別支援検討会を行い、作成・検討・修正後回覧し共有する。そして、それを日々の活動につなげている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	25				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	25				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	24	1		・日々、活動前後に話し合いと確認を行っている ・活動リーダーが中心となり、各専門職員と相談しながら立案している ・活動リーダーや活動担当職員を中心に策定している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	25			・各児童の反応や、各児童の活動のねらいにあわせた活動を考えている	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	25			・集団の利点である児童同士のかかわりを反応を意識して取り組んでいる ・観察や評価を行いながら支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	25			・日々実施し、確認している ・職種を活かした支援や活動への参加をしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	25			・日々実施し、確認している ・各職種から、児童の反応からの気づきや評価を共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	25			・電子カルテに記載している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	25			・6か月に1度は必ず見直している ・6か月で再評価している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	25				
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	25				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	25			・併行通園先の園の活動見学や会議への参加を依頼し、情報共有を図っている ・また、当園の活動見学もお受けしている ・支援会議に参加している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	25			・保護者の同意を得て移行支援会議に参加させていただき、情報共有を図っている ・勉強会を実施している	
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	25			・東部小児リハ会等で、他事業者の方と連携を図っている ・地域の児童発達支援事業所と当園が、互いに活動見学したり会議への参加の機会を設ける等している	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	25				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	20	4	1	・園として参加している	・誰が参加しているかはよくわかっていない ・参加職員が作成する報告書の回覧等を行い、より細やかな周知を図る
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	14	2	・さくらんぼぐみは並行通園 ・未就園のお子さんと就園されているお子さんが一緒に活動を行う合同活動参加日は実施できた	・分からない ・現在、他の事業所・保育所等と並行してご利用の方が多く、交流の機会は設定していない。必要な情報提供は引き続き行う。
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	25			・小さな変化や気づきについても、伝えている	
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	25			・当園職員が講師をする等の保護者勉強会を定期的に実施している ・家族へ研修会を実施している	
保護者への説明等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	25			・契約時に行っている	
	35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	25				
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	25				
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	25				
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20	4	1	・家族合同の活動日を計画している ・クラス会の機会を計画した ・活動クラスによっては、活動日毎に保護者分離し保護者同士の交流の機会を設けている	・クラス会等の計画はしたが、ご家庭の都合等で参加がなかった。どのように交流の機会を設けていくかを考えていく必要がある ・通園活動内では、きょうだいの参加機会を設けていない ・きょうだいの交流をどう設けるか ・参加を募るが、参加者がいない場合もある ・ご利用者さんからのご意見を伺い、保護者会等のあり方を検討する必要があると考える
	39	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	25			・補佐、サービス担当者、担当者への連携とチームへの共有ができています	

	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	25			・HPを活用している	・研修室に掲示してある通園の活動をまとめたものを、受付の方などにも掲示してはどうか
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	25				
	42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	25				
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	19	5	1	・行事の時に地域で活躍されている方に来園いただいた ・当園主催の地域に向けての研修会(療育セミナー)を実施している	・地域住民を招待する行事を行っていない
非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	25				
	45	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	25				
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	25			・保護者の同意が得られた利用児童は、おしどりネットを利用し情報収集している ・保護者からも情報収集している	・すべての情報がとりにきていない ・定期的に情報収集する必要がある
	47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	25			・通園利用契約前には、保護者へ聞き取り表をもとに情報収集している ・アレルギーがある場合には、医師からの指示書を受領している	
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	25				
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	25				
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	25				
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	25				
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	24		1	・虐待防止、身体拘束等適正化について、全職員で研修している ・個別支援計画書に明記し、説明している ・身体拘束になることをしていない	